

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	関係法規・制度	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須	
担当教員	山中 一馬	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義	
授業概要 ・ 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師法をはじめとする美容師の業務に関する衛生法規や制度、消費者の保護法規や制度、また、公衆衛生を担う美容師の社会責務、職業倫理について学習する。</li> <li>・授業は講義形式で、教科書に沿った内容で作成したオリジナルレジュメを配布しインプット授業を行い、單元ごとにワークブックを用いたアウトプット演習を行う事で到達度を確認しながら進めていく。中間及び期末試験では、過去問の出題傾向からその年の出題単元を予想した問題を解答させ評価する。</li> </ul>							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美容師国家試験(関係法規・制度)合格水準に100%到達させる。</li> <li>2. 美容師の社会的責任・職業倫理を理解させる。</li> <li>3. 美容師制度に関する法的規制、制度を理解させる。</li> </ol>							
授業計画・内容								
第1週	関係法規・制度を受講するにあたって		第16週	前期試験の復習				
第2週	法制度の概要①		第17週	美容師と理容師 業務比較				
第3週	法制度の概要②		第18週	美容師試験				
第4週	衛生法規の概要①		第19週	美容師免許と登録				
第5週	衛生法規の概要②		第20週	美容師免許の変更届				
第6週	法と行政の関係①		第21週	業務停止、免許取消・再免許				
第7週	法と行政の関係②		第22週	管理美容師				
第8週	衛生行政の意義と歴史①		第23週	美容所の開設				
第9週	衛生行政の意義と歴史②		第24週	美容師が講ずべき衛生管理				
第10週	衛生行政の種類①		第25週	開設者が講ずべき衛生管理				
第11週	衛生行政の種類②		第26週	立入検査・環境衛生監視員				
第12週	衛生行政機関について		第27週	行政処分				
第13週	美容師法の目的		第28週	罰則				
第14週	美容師法の体系		第29週	生活衛生法 試験出題対策				
第15週	用語の定義		第30週	総まとめ				
評価方法	定期試験(前期・後期試験)を実施し、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 評価目安: 定期試験(90%)・授業態度や出席(10%)							
教科書 教材など	公益財団法人 日本理容美容教育センター発行 書名「関係法規・制度テキスト及びワークブック」							
実務経験	法律事務所3年勤務					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	森下 堅一		学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・美容所における、消毒の意義と目的を伝え、消毒方法の種類、原理、特徴を理解する。また、美容器具などの対象物の材質、構造などに応じた適切な消毒方法の選択と適切な実践方法を学ぶことにより、美容所において用いられる代表的な消毒方法と正しい操作方法を身に付ける。</p> <p>・授業は講義形式で、美容師国家試験(筆記)で過去に出題された部分を中心に、单元ごとにまとめたものをパワーポイントを使用して説明を行う。学生には重要点をノートにまとめてもらい、テスト前にすぐに確認ができるようなものを作成してもらう。ノートの提出や小テストも行い、学期末には前・後期テストを実施する。</p>							
到達目標	<p>・美容業務の衛生性を向上させる為に、美容器具などの消毒法の意義と原理を理解させ適正な実施方法を身に付けさせる。</p> <p>・美容師国家試験(筆記)課題でもあり、1年次に学習した「公衆衛生」「環境衛生」「感染症」と合わせて、2年次で学習する「衛生管理技術」を理解することで、美容師国家試験合格を目標とする。</p>							
授業計画・内容								
第1週	4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論 1節 消毒とは ・病原微生物と非病原微生物			第16週	1節 各種消毒薬 ・常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度 ・希釈法			
第2週	1節 消毒とは ・消毒の原理			第17週	2節 理容所・美容所の消毒の実際 ・理、美容所における消毒の原則 ・消毒設備			
第3週	2節 消毒の意義 ・汚染、感染、発病と消毒の意義			第18週	2節 理容所・美容所の消毒の実際 ・理、美容器具類の消毒法 ・手指の消毒			
第4週	2節 消毒の意義 ・殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義			第19週	2節 理容所・美容所の消毒の実際 ・その他のものの消毒			
第5週	3節 理容・美容の業務と消毒との関係 ・消毒に関連のある法の規定			第20週	2節 理容所・美容所の消毒の実際 ・理、美容所の消毒の現状			
第6週	3節 理容・美容の業務と消毒との関係 ・消毒を怠った場合の危険性と理・美容師の責任			第21週	3節 理容所・美容所の清潔法の実際 ・清潔保持と清掃 ・洗剤による清浄法			
第7週	4節 消毒法と適用上の注意 ・消毒法の種類 ・消毒に必要な条件			第22週	3節 理容所・美容所の清潔法の実際 ・洗い場の構造と清潔保持 ・清掃			
第8週	4節 消毒法と適用上の注意 ・病原微生物の抵抗力 ・消毒薬の使用と注意			第23週	3節 理容所・美容所の清潔法の実際 ・刈り取った毛の処理、汚物箱の消毒 ・ハエやカの駆除			
第9週	4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論 1節 理学的消毒法 ・紫外線消毒 ・煮沸消毒			第24週	5編 衛生管理の実践例 1章 理・美容所における衛生管理要領			
第10週	1節 理学的消毒法 ・蒸気消毒 ・その他の理学的消毒法			第25週	5編 衛生管理の実践例 2章 理・美容所の自主管理点検票			
第11週	2節 化学的消毒法 ・アルコール類、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒			第26週	公衆衛生 まとめ (国家試験対策)			
第12週	2節 化学的消毒法 ・界面活性剤、グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒			第27週	環境衛生 まとめ (国家試験対策)			
第13週	2節 化学的消毒法 ・その他の消毒			第28週	感染症 まとめ (国家試験対策)			
第14週	3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意 ・すぐれた消毒法の条件 ・消毒を行う際の注意事項			第29週	衛生管理技術 まとめ (国家試験対策)			
第15週	4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習 1節 各種消毒薬 ・消毒薬の概要 ・器具の使い方			第30週	衛生管理 総まとめ (国家試験対策)			
評価方法	<p>定期試験(前期・後期)を実施し、ノートの提出、小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※定期試験(70%)・ノートの提出や小テスト(20%)・授業態度や出席(10%)</p>							
教科書 教材など	<p>・「衛生管理」公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・プロジェクター(パワーポイント使用) ・A4ノート(1人1冊配布)</p>							
実務経験	美容師経歴7年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	保健		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	岩瀬 泰		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・美容の業務は人の容姿を美しくするだけではなく、人体の構造及び各機能についての知識が美容師として必要であることを理解させる。</p> <p>・授業は講義形式でプロジェクターを使用し写真や図などを表示することで、理解を深めていき、また小テストや提出物により理解できていない単元をピックアップし再度教える。</p>							
到達目標	<p>・美容師試験筆記課題のため、1年次の復習を行う。引き続き2年次も各単元の解説と、重要点をノートにまとめ提出させ確認させる。また、年度末に全体の復習や確認をすることにより、国家試験筆記の合格を目指す。</p>							
授業計画・内容								
第1週	人体についての復習 1～2章			第16週	4章 皮膚付属機関の生理機能 * 体温調節作用及び、知覚と皮膚反射			
第2週	人体についての復習 3～4章			第17週	4章 皮膚付属機関の生理機能 * 分泌排泄作用及び、呼吸・吸収作用			
第3週	人体についての復習 5～6章			第18週	4章 皮膚付属機関の生理機能 * 貯蔵作用及び、免疫・解毒作用			
第4週	人体についての復習 7～8章			第19週	4章 皮膚付属機関の生理機能 単元テスト * 再生作用及び、毛と爪のはたらき			
第5週	復習まとめテスト及び、回答・解説			第20週	5章 皮膚付属器官の保健 解答 * 皮膚と健康・精神・栄養について			
第6週	皮膚科学 皮膚とは何か			第21週	5章 皮膚付属器官の保健 * 皮膚と体内病変について			
第7週	1章 皮膚の構造 * 各部の構造および、名称について			第22週	5章 皮膚付属器官の保健 * 皮膚と水分・脂について			
第8週	1章 表皮について * 各層の構造および、細胞・名称について			第23週	5章 皮膚付属器官の保健 * ホルモンと皮膚の保護手入れについて			
第9週	1章 真皮・皮下組織について * 各層の構造及び、役割について			第24週	6章 皮膚付属器官の疾患 * 皮膚の異常とその種類、アレルギーについて			
第10週	1章 部皮膚の位差 単元テスト * 各部位の差と特徴について			第25週	6章 皮膚付属器官の疾患 * 湿疹・蕁麻疹等			
第11週	2章 皮膚付属機関の構造 * 毛の構造と成長・周期			第26週	6章 皮膚付属器官の疾患 * 温熱・寒冷、角化異常について			
第12週	2章 皮膚付属機関の構造。 * 脂腺汗腺について			第27週	6章 皮膚付属器官の疾患 * 色素異常・分泌異常について			
第13週	2章 皮膚付属機関の構造。 単元テスト * 爪や立毛筋について			第28週	6章 皮膚付属器官の疾患 単元テスト * 細菌・ウイルスによる疾患			
第14週	3章 皮膚の循環と神経 及び単元テスト			第29週	解答及び、人体まとめ * 過去問形式			
第15週	4章 皮膚付属機関の生理機能 * 対外保護作用			第30週	皮膚科学まとめ * 過去問形式			
評価方法	<p>・定期試験を実施すると共に授業時の重要ポイントをまとめたノートの提出、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 定期試験(70%)・ノート提出(20%)・授業態度や出席(10%)</p>							
教科書 教材など	<p>①公益社団法人日本理容美容教育センター発行: 書名「保健」</p> <p>②視聴覚教材: プロジェクター(パワーポイント)</p>							
実務経験	美容師経歴23年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	香粧品化学		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	仁井名 由記		学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要・授業内容	<p>・香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性について学習していく。</p> <p>・授業は講義形式で、單元ごとにテストを行い、結果により理解度を確認しながら授業展開を進めていく。</p>							
到達目標	<p>国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。また美容師として身に付けなければならない知識を得て就職してから役立てられるようにしていく。</p>							
授業計画・内容								
第1週	5章 頭皮・毛髪用香粧品 1節 シャンプー剤			第16週	5節 育毛剤 1育毛の原因			
第2週	2 ヘアリンズ剤			第17週	2 育毛剤の種類と機能 3 育毛・養毛の原料			
第3週	3 ヘアトリートメント剤			第18週	6章 芳香製品と特殊香粧品 1節 芳香製品 1香水 2オーデオロン 3その他芳香製品			
第4週	2節 スタイル剤 1スタイル剤の機能			第19週	2節 特殊香化粧品 1 サンケア製品 2 美白用香商品			
第5週	2 油性スタイル剤			第20週	3制汗防臭剤 4ニキビ香粧品			
第6週	3 液状スタイル剤 4 高分子物質を基材とするスタイル剤			第21週	6章 芳香製品と特殊香粧品 1節 芳香製品			
第7週	3節 パーマ剤 1パーマの原理			第22週	2節 特殊香粧品 1サンケア製品 2美白用香粧品			
第8週	2 パーマ剤の分類			第23週	3制汗防臭剤 4ニキビ香粧品			
第9週	3 パーマ剤第1剤			第24週	ワークブックによる演習			
第10週	4 パーマ剤第2剤 5 パーマ剤の使用上の注意			第25週	ワークブックによる演習			
第11週	4節 ヘアカラー製品 1 ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム			第26週	ワークブックによる演習			
第12週	2 一時染毛料			第27週	ワークブックによる演習			
第13週	3 半永久染毛料			第28週	ワークブックによる演習			
第14週	4 脱色剤・脱線剤			第29週	ワークブックによる演習			
第15週	5 永久染毛剤 6ヘアカラー製品の使用上の注意			第30週	ワークブックによる演習			
評価方法	<p>定期試験と毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。            ※評価目安:定期試験34% 小テストやレポート33% 授業態度33%</p>							
教科書教材など	<p>出版社:公益社団法人、日本理容美容教育センター。 書名:香粧品化学</p>							
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ21 3年					実務経験のある教員による授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	文化論	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	神崎 順治	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	理容・美容業の成り立ちや、古代から現代までのファッション文化を学び、お客様とのコンセンサスを得るための基礎として美容文化の歴史を学ぶ授業である。 授業はテキストを中心に、講義形式やグループワークで行う。1年生で学んだ歴史の大きな流れを振り返りながら、国家試験に向けてより知識を定着させていく						
到達目標	1年次に学習したファッション文化史と合わせて、2年次で学習する「現代のファッション文化史」「礼装の種類」を理解することで、美容師国家試験合格する知識を身に付ける。						
授業計画・内容							
第1週	・オリエンテーション ・ファッション文化史日本編 年表づくり		第16週	礼装の種類 和装			
第2週	ファッション文化史日本編 年表づくり		第17週	礼装の種類 洋装			
第3週	ファッション文化史日本編 現代Ⅰ 現代Ⅱ 現代Ⅲ(髪型)		第18週	礼装の種類 まとめ			
第4週	ファッション文化史 映画「ローマの休日」鑑賞		第19週	国家試験対策 (日本の理容業・美容業の歴史)			
第5週	ファッション文化史 映画「ローマの休日」鑑賞		第20週	国家試験対策 日本編(縄文～古代)			
第6週	ファッション文化史日本編 現代Ⅰ 現代Ⅱ 現代Ⅲ(服装)		第21週	国家試験対策 日本編(中世～近世Ⅰ)			
第7週	ファッション文化史日本編 現代Ⅰ 現代Ⅱ 現代Ⅲ(化粧)		第22週	国家試験対策 日本編(近世Ⅱ)			
第8週	ファッション文化史日本編 現代Ⅰ 現代Ⅱ 現代Ⅲ(まとめ)		第23週	国家試験対策 日本編(近世Ⅱ)			
第9週	ファッション文化史西洋編 現代Ⅰ 現代Ⅱ 現代Ⅲ(髪型)		第24週	国家試験対策 日本編(近代)			
第10週	ファッション文化史西洋編 現代Ⅰ 現代Ⅱ 現代Ⅲ(服装)		第25週	国家試験対策 日本編(近代)			
第11週	ファッション文化史西洋編 現代Ⅰ 現代Ⅱ 現代Ⅲ(化粧)		第26週	国家試験対策 日本編(全体まとめ)			
第12週	ファッション文化史西洋編 現代Ⅰ 現代Ⅱ 現代Ⅲ(まとめ)		第27週	国家試験対策 西洋編(古代～中世)			
第13週	ファッション文化史日本編 現代Ⅳ		第28週	国家試験対策 西洋編(近世)			
第14週	ファッション文化史西洋編 現代Ⅳ		第29週	国家試験対策 西洋編(近代)			
第15週	ファッション文化史 前期 まとめ		第30週	国家試験対策 西洋編(全体まとめ)			
評価方法	・定期試験を実施すると共に、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(90%)・授業態度や出席(10%)						
教科書 教材など	・出版社: 日本理容美容教育センター 書名: 文化論						
実務経験	中学校教諭一級免許(美術)				実務経験のある教員による 授業科目		

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	運営管理		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	井上 祐樹		学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要	<p>・経営者の考え方、従業員の在り方、顧客に対しての満足されるサービスなど、美容業における経営、接客に必要な基本的な知識や方法について学ぶ。</p>							
授業内容	<p>・授業は講義形式でパワーポイントを使い、簡潔かつ分かりやすくまとめる。美容業にとどまらず、学生に分かりやすい例をあげながら展開し、国家試験対策、将来の経営者になりたいと思う学生の知識が増えるよう授業を行っていく。</p>							
到達目標	<p>・本科目「運営管理」のねらいは、国家試験必須科目になっているので、国家試験の合格が出来るようにすることにある。同時に基本的な経営知識、顧客志向、美容業についてなどサービス業(美容業)について理解を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生の目標を実現に役立てるようにする。</p>							
授業計画・内容								
第1週	第1節 経営が必要とされる理由 第2節 経営が厳しい理由＝経営が必要な理由	第16週	第5節 キャリアプランの重要性 第6節 仕事をするうえで考えるべきこと					
第2週	第3節 経営とは何か 第4節 経営資源と経営計画	第17週	第1節 顧客が求める価値 第2節 価値の実現					
第3週	第5節 経営戦略 第6節 経営戦略の目的・よい店の実現	第18週	第3節 顧客満足の実現のためのシステム 第4節 最も重要な価値：人					
第4週	第1節 業界の概要 第2節 競争の変化	第19週	第5節 価値の多様性 顧客が求めるもの 第6節 サービスの範囲					
第5週	第3節 サービスとしての理容・美容 第4節 理容業・美容業の顧客について	第20週	第1節 理容業・美容業のマーケティング 第2節 マーケティング・ミックス					
第6週	第1節 資金簡易の重要性 第2節 収支と損益	第21週	第3節 マーケティング・ミックスの要因 短期的要因① 第4節 マーケティング・ミックスの要因 短期的要因②					
第7週	第3節 会計の考え方 第4節 コストを管理する	第22週	第5節 マーケティング・ミックスの要因 長期的要因① 第6節 マーケティング・ミックスの要因 長期的要因②					
第8週	第5節 税金について 第1編 まとめ	第23週	第7節 サービスのシステム化					
第9週	第1節 人という資源とは 第2節 人の能力を高める	第24週	第1節 接客についての理解 第2節 よい接客のために					
第10週	第3節 人をやる気にさせるには 第4節 給与	第25週	第3節 接客の実践① 第4節 接客の実践②					
第11週	第5節 待遇・福利厚生 第6節 労働者の権利	第26週	第5節 接客の実践③ 第6節 接客の実践④					
第12週	第1節 健康管理の基礎 第2節 理・美容の仕事と健康	第27週	第7節 接客の実践⑤ 第8節 接客におけるトラブルと対応					
第13週	第3節 理・美容業に特徴的な健康問題 第4節 理・美容の作業環境に関する健康管理	第28週	第9節 接客で発生が予想される問題 第10節 問題を深刻化させないための対策・対処					
第14週	第1節 社会人として、理美容業の従業員としての責任 第2節 社会保険①～公的年金～	第29週	国家試験対策					
第15週	第3節 社会保険②～医療年金～ 第4節 社会保険③～労働保険～	第30週	国家試験対策					
評価方法	<p>定期試験(前期・後期)を実施する。毎時間の板書ノートの提出、出席状況、授業態度などを考慮して成績を評価する。 ※評価目安：①定期試験(80%)・②ノート提出(10%)・③授業態度や出席(10%)</p>							
教科書 教材など	<p>・出版社：公益社団法人 日本理容美容教育センター。書名：運営管理 ・プロジェクター(パワーポイント使用)</p>							
実務経験	美容師経歴6年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容技術理論		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	白神 健一		学年・学期	2年・通年	時間数	90 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・1年次からの継続となるが、美容技術理論①の続きであるヘアデザインやヘアカラーについて学ぶ。そして美容技術理論Ⅱ(着付け・日本髪・エステ・メイク等)を集中的に行っていく。                      ・授業は講義形式で、単元が終わるごとに反復学習を行うことにより、自分の苦手な科目を明確にする。そしてクラス全員が同じレベルになるようにクラス内小テストを導入しながら授業展開していく。</p>							
到達目標	<p>・今期の学生より国家試験における出題数が55問に増加しており、合格に向けて授業中に行った単元テストや過去問題、予想問題等を行う事により、クラス全員が安定して8割の正答率を出せるようにする。                      ・就職した際に困らない為にも基礎知識が理解できるようにする。</p>							
授業計画・内容								
第1週	7章ヘアカラーリング (ヘアカラーの概論) ※カラー剤の種類別特徴		第16週	11章日本髪 (日本髪の由来) ※日本髪の歴史				
第2週	7章ヘアカラーリング ※パッチテストや染毛時の注意事項		第17週	11章日本髪 (日本髪の名称と特徴) ※日本髪における名称と特徴について				
第3週	8章エステティック (エステティック概論) ※皮膚の生理と構造		第18週	11章日本髪 (日本髪の装飾品) ※装飾品の名称や取り付け位置				
第4週	8章エステティック (マッサージ理論) ※フェイシャル及びデコルテマッサージ技術		第19週	11章日本髪 (日本髪の結髪技術) ※使用道具や技術手順				
第5週	8章エステティック (カウンセリング理論) ※カウンセリングの目的と役割		第20週	12章着付けの理論と技術 (着付けの目的) ※洋服、和服の目的と特徴				
第6週	8章ボディケア技術 (手技と特徴) ※手技の目的と注意点を理解させる		第21週	12章着付けの理論と技術 (礼装について) ※各種礼装の格式や特徴とは				
第7週	9章ネイル技術 (ネイル技術概論) ※ネイル技術の種類		第22週	12章着付け理論と技術 (着付けの要領) ※選び方や模様等の位置、バランス				
第8週	9章ネイル技術 (爪の構造と機能) ※爪の各部名称や形状を理解させる		第23週	12章着付け理論と技術 (振袖の着付け技術) ※補正技術や準備物について				
第9週	9章ネイル技術 (公衆衛生について) ※細菌感染や消毒法を理解させる		第24週	12章着付け理論と技術 (和装、洋装の花嫁) ※着付け方の手順や注意点など				
第10週	9章ネイル技術 (ネイルケアの概論) ※使用道具及び技術の習得		第25週	7～8章の復習 ※過去問題、並びに予想問題				
第11週	10章メイクアップ (メイクアップ概論) ※顔の形態学的な観察		第26週	9～10章の復習 ※過去問題、並びに予想問題				
第12週	10章メイクアップ (メイクアップと色彩) ※色の三属性と色の分類		第27週	11～12章の復習 ※過去問題、並びに予想問題				
第13週	10章メイクアップ (スキンケア技術) ※手順と目的を理解させる		第28週	国家試験対策 技術理論①の総復習				
第14週	10章メイクアップ (まつ毛エクステンション) ※技術と手順、並びに注意点を理解させる		第29週	国家試験対策 技術理論②の総復習				
第15週	前期のまとめ ※前期授業の抜粋問題		第30週	後期試験 (国家試験に向けて) 技術理論①、②の抜粋問題				
評価方法	<p>授業外で定期試験を実施する。授業内で単元ごとのテストや小テストを実施し、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。                      ※評価目安: 定期試験(60%)・単元テストや小テスト(30%)・授業態度や出席(10%)</p>							
教科書 教材など	<p>・日本理容美容教育センター出版「美容技術理論①美容技術理論②」                      ・視聴覚教材: プロジェクター(パワーポイント)</p>							
実務経験	白神 健一 美容師歴: 6年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容実習		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	岩瀬 泰 / 白神 健一		学年・学期	2年・通年	時間数	420 時間	授業方法	実技
授業概要・授業内容	<p>・前期は主に美容師として必要な基礎技術(シャンプー・カット&amp;ブロー・セットアップ・ヘアカラー・ネイル)を行い、後期は各自で作品を作成し、トータルバランスを養うと共に、国家試験実技の課題の3パターンと衛生試験に対しても同時に教えて行く。</p> <p>・授業は実技形式で、反復学習を行うことにより、実技やタイムアップに繋げ、見極めで遅れが目立つ学生に対しては補習によるフォローアップを行い、クラス全員が同じレベルになるように授業展開していく。</p>							
到達目標	<p>・国家試験実技の合格に向け(ワインディング・ウエーブ・カット)を全員を規定タイムアップに入ることや衛生試験に対しても理解し行動がとれることを目標にする。また美容院に入ったときに困らないようにサロン技術の基礎知識を理解できるように目指す。</p>							
授業計画・内容								
第1週	・シャンプー技術(サイドシャンプーの復習) ・ワインディング(タイムアップを図る。)			第16週	・セットアップ作品の作成(スタイル・メイクのバランス) * テーマ: 自由			
第2週	・フルシャンプー&スカルプトリートメント(週2時間) ・ワインディング(衛生チェック。)			第17週	・セットアップ作品の作成(スタイル・メイクのバランス) * テーマ: 自由(学生達の感性を磨く)			
第3週	・セットアップ(編み込みのアレンジ)① ・オールウエーブ(7段構成の理解を深める)			第18週	・国家試験スタイル(レイヤー) * スタイルの構成を理解させる。			
第4週	・セットアップ(編み込みのアレンジ)② ・オールウエーブ(7段構成の理解を深める)			第19週	・国家試験スタイル(レイヤー) * パネルの引き出し方と角度を理解させる。			
第5週	・ロングレイヤー(オーバーダイレクション) ・ワインディング(タイム25~20分)			第20週	・ワインディング(タイム20分を目安) ・オールウエーブ(タイム30~25分目安)			
第6週	・レイヤーのカット&ブロー(スタイルを作る) ・ヘアカラー(メッシュ:ウイーピング・スライジング)			第21週	・国家試験課題(ワインディング・ウエーブ) * 使用した道具の使い分けと衛生指導。			
第7週	・セットアップ(シニヨン;アイロン使用) ・オールウエーブ(タイムアップ)			第22週	・国家試験課題(ワインディング・ウエーブ) * 衛生チェック			
第8週	・ワインディング(タイム25~20分) ・アルカリ剤でのカラーリング(酸化染毛剤)			第23週	・国家試験課題(レイヤーカット) * タイムアップ30分			
第9週	・オールウエーブ(タイムアップを図る。) ・セットアップ(ホットカーラの巻き方)			第24週	・国家試験課題(レイヤーカット) * タイムアップ25分。衛生指導			
第10週	・ヘアカラー(ヘアマニキュア) * 酸化染毛剤と塗布の違いを理解させる			第25週	・国家試験課題(ワインディング・ウエーブ・カット) * 衛生チェック。カット20分を目安。			
第11週	・カット(ヘアデザイン:シンメトリー・アシンメトリー) * スタイルのバランス:黄金比率を理解させる)			第26週	・国家試験課題(ワインディング・ウエーブ・カット) * 見極め。補習によりフォローアップ			
第12週	・セットアップ(シニヨン:髷の位置。似合わせ。) * スタイルにより顔の印象を変える			第27週	・国家試験課題(ワインディング・ウエーブ・カット) * 衛生チェック。それぞれの課題のタイムを計る。			
第13週	・ワインディング(20分を目標) ・オールウエーブ(30分を目安)			第28週	・国家試験課題(ワインディング・ウエーブ・カット) * 見極め。補習によりフォローアップ			
第14週	・ワインディングとオールウエーブの見極め * 補習によるフォローアップ			第29週	・国家試験課題(ワインディング・ウエーブ・カット) * 全員がタイムに入るように指導。			
第15週	・前期試験(ワインディング20分)・ウエーブ(30分)・カット(シザーズによるカット技法)			第30週	・国家試験課題(ワインディング・ウエーブ・カット) * 後期試験(課題に合わせたタイムと衛生チェック。)			
評価方法	<p>・授業内で定期試験を実施し、実技・衛生チェックの見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(70%)・実技・衛生チェックの見極め(20%)・授業態度や出席(10%)</p>							
教科書教材など	<p>・出版社:理容美容教育センター 書名:「美容技術理論 I・II」「美容実習 I・II」 ・出版社:新美容株式会社 書名:TOMOTOMO</p>							
実務経験	・岩瀬 泰 美容師歴:23年 / 白神 健一 美容師歴:6年					実務経験のある教員による授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ヘアカラーコーディネート		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ハステルカラー(安井 けい子/森 香絵)		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・1年時に取得した色彩に関する知識を復習し、より深め、専門分野に応用できるよう学ぶ授業である。学んだ内容について、復習と理解度を確認するための小テストを実施する。</p> <p>・授業は講義形式で行い、また色彩理論を応用した作品を創る実習に加え、主に、パーソナルカラー理論を応用した実習を行う。</p> <p>実習は、個人で取り組むもの、グループで取り組むものの2パターンがあり、主体的かつ対話的に行う。希望者は、「色彩検定2級」取得をめざす。</p>							
到達目標	<p>本科目「ヘアカラーコーディネート」は、専門分野に活用できるよう、色彩の知識をより深め、実践的に表現できることを目標としている。個人・グループでの実習では、五感や感性、独創性や表現力を高められるよう指導を行う。また、社会人として通用するためのホスピタリティーやマナー、他者との関わり方やコミュニケーション能力、リーダーシップ力の他、自己効力感など、社会人基礎力を身につけることをねらいとしている。</p>							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション、1年後の理想の自分実習			第16週	パーソナルカラー実習①、4シーズンカラー			
第2週	グループワーク①(模擬授業説明)			第17週	パーソナルカラー実習②、ドレープの見分け方			
第3週	グループワーク②(模擬授業準備)			第18週	パーソナルカラー実習③・診断の仕方			
第4週	グループワーク③(模擬授業発表)			第19週	パーソナルカラー実習④・ドレープ診断実習			
第5週	グループワーク④(振り返りと小テスト)			第20週	パーソナルカラー実習⑤・ドレープ診断実習			
第6週	マンセルシステムとは			第21週	パーソナルカラー実習⑥・個人コラージュ作成			
第7週	色と香りの相関関係(アロマセラピー体験)			第22週	パーソナルカラー実習⑦・コラージュ作成と発表			
第8週	パーソナルカラー理論①、カード実習			第23週	パーソナルカラー実習⑧・4シーズンとヘアデザイン			
第9週	パーソナルカラー理論②、カード実習			第24週	パーソナルカラー実習⑨・4シーズンとヘアカラー			
第10週	パーソナルカラー理論③、復習と小テスト			第25週	季節感と色彩(年賀状作成実習)			
第11週	パーソナルカラー理論④、小テスト			第26週	混色と色(パステルアート実習)			
第12週	季節感と色彩、配色レッスンと作品作成実習			第27週	混色と色(ヘアカラー実習)			
第13週	パーソナルカラー理論⑤、グループワーク			第28週	配色レッスン(サンクスカード作成実習)			
第14週	パーソナルカラー理論⑥、ネイルデザイン実習			第29週	後期試験対策①・グループワーク			
第15週	前期試験対策			第30週	後期試験対策②			
評価方法	<p>・定期試験は、前期・後期共に実施し、小テスト、課題提出、出席状況、授業態度を考慮して成績評価をする。</p> <p>* 評価目安: 定期試験(60%)、課題提出及び小テスト(20%)、授業態度や出席(20%)</p>							
教科書 教材など	<p>書名: 色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級(出版社: 一般社団法人日本カラーコーディネート協会)、検定過去問題、カラーカード</p>							
実務経験	安井 けい子: カラーサロン主宰23年、色彩検定、パーソナルカラー担当22年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容総合研究		学科名	ヘアビューティ		必須・選択	必須選択	
担当教員	岩瀬 泰 / 白神 健一		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	授業方法	演習
授業概要 授業内容	<p>・一年次で学んだ毛髪の仕組みや薬剤の知識を復習を兼ねて、座学を交え(シャンプー・パーマ・カラー)の使用方法や注意点を教える。</p> <p>・授業は実技演習を中心に美容の基礎となる各技術をデモンストレーションで細かく解説をしながら伝え、モデルウィッグや相モデルで実習を行い、美容師として必要な専門用語等を教えより実践的な教育を目指す。</p>							
到達目標	<p>・美容院に就職した際に、先輩や店長またオーナーが施術をしている様子の「見る」ポイントを教え、また美容の専門用語が少しでも理解できることで美容雑誌の内容が把握でき今後の勉強に役立てる。</p>							
授業計画・内容								
第1週	ヘアブリーチについて復習 過酸化水素水とアルカリブリーチ剤の理解		第16週	シャンプーからスタイリングまで 2回目 フィンガードライの方法				
第2週	ウィックでのブリーチ技術1回目 ハーフヘッドを行い ノンブリーチとの違いを知る		第17週	ストレートパーマ講義1回目 ストレートパーマの概略				
第3週	ウィックでのブリーチ技術2回目 残りのハーフヘッドで均等な塗布の練習		第18週	ストレートパーマ2回目 ストレートパーマでのアイロン操作実習				
第4週	ヘッドマッサージの考え方と方法 1回目 頭部のツボについて (座学)		第19週	ブロー技術 1回目 ウィッグによるブローブラシの使い方				
第5週	ヘッドマッサージの考え方と方法 さまざまな手技 (座学)		第20週	ブロー技術 2回目 ウィッグによるブローブラシの使い方と仕上げ				
第6週	薬剤を使用したヘッドマッサージ作業		第21週	ヘアカラーリング1回目座学 パッチテストの説明とその実際				
第7週	カラーリングヘアマニキュア ヘアマニキュアの仕組みと注意点座学		第22週	ヘアカラーリング2回目 グレイカラーを想定しての塗布とその実際				
第8週	カラーリングヘアマニキュア技術 塗布の方法と発色の仕方を知る		第23週	ウェーブスタイルの復習 ウェーブ・ピンカールの 接続や、構成についての研究				
第9週	ショートウィックでのワインディング1回目 細めのロッドの巻き方と注意点		第24週	ワインディングスタイルの復習 各ロッド間のつなぎ や、ゆるみ等がないか研究				
第10週	ショートウィックでのワインディング2回目 メンズスタイルのワインディング		第25週	人頭でのワインディング、及び補助作業 長さ に合わせたロッド選定 1回目				
第11週	美容業での接客、受付業務とは (座学)		第26週	人頭でのワインディング及び補助作業 長さ に合わせたロッド選定 2回目				
第12週	受付業務からシャンプーまで		第27週	カットスタイル コーム使いや、パネルコントロール ができていないか確認				
第13週	ハンドドライヤーの使い方 人頭でのドライ作業の方法と注意点		第28週	カットスタイル シザーワークがスムーズにできて いないか確認				
第14週	サロンで使用されている専門用語の解説座学 基礎編・カット編		第29週	カットスタイル サロンスタイル セニングでの毛量調整等				
第15週	バックシャンプーからハーフドライまで		第30週	サロンでのお客様を想定したバックシャンプー～仕 上げまで				
評価方法	<p>・定期試験は授業内で実施し、授業の進捗状況に応じ、実技の成長度合いや衛生に係る見極めと、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実技の成長度と衛生見極め(40%)・成長度・(40)授業態度や出席(20%)</p>							
教科書 教材など	<p>・出版社:サロンニューズマガジン株式会社発行。 書名:「ハンディ用語ブック」</p> <p>・出版社:日本理容美容教育センター発行。 書名:「美容理論 I」</p>							
実務経験	岩瀬 泰 美容師歴:23年 / 白神 健一 美容師歴:6年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	一般教養		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	仁井名 由記		学年・学期	2年・通年	時間数	45 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	1年に引き続き、高校までに学習した政治・経済の仕組み、地理歴史の復習を行う。また、新聞の読み方などを通じて時事常識についても知識を深めさせる。後期にはパソコンを活用した広報活動及びSNSの注意点についても学ばせる。授業は講義形式で小テストをしながら学生の苦手としているところを把握し授業展開を行う。また、国家試験筆記に対応できるように過去問を参考にして読み方と説き方のポイントを教える。							
到達目標	美容院に就職したときに、お客様とコミュニケーションを図る上で最低限しておくべき、一般常識として世界情勢や日本の都道府県及び新聞からの情報収集ができるように教え今後役に立てられることを目指す。							
授業計画・内容								
第1週	国会の成り立ち 高校までの復習			第16週	四字熟語について			
第2週	同上練習問題によるまとめ			第17週	同上練習問題によるまとめ			
第3週	選挙制度等の公民的知識について高校までの復習			第18週	故事成語、語源について			
第4週	同上練習問題によるまとめ			第19週	同上練習問題によるまとめ			
第5週	経済の仕組み			第20週	新聞の読み方			
第6週	世界の情勢について高校までの復習			第21週	時事常識の解説			
第7週	同上練習問題によるまとめ			第22週	ブレインストーミング(KJ法)			
第8週	同上練習問題によるまとめ			第23週	パソコンを活用した顧客情報の管理・広報活動について			
第9週	社会保障制度(雇用保険)について高校までの復習			第24週	SNSの使用上の注意点			
第10週	同上練習問題によるまとめ			第25週	情報セキュリティについて			
第11週	社会保障制度(労働基準法等)について高校までの復習			第26週	ファッションの歴史			
第12週	同上練習問題によるまとめ			第27週	同上練習問題によるまとめ			
第13週	日本の地理(都道府県名)について高校までの復習			第28週	髪形の歴史			
第14週	岡山の歴史について高校までの復習			第29週	同上練習問題によるまとめ			
第15週	同上練習問題によるまとめ			第30週	礼装の種類			
評価方法	定期試験と毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 目安 定期試験33% 小テストやレポート33% 授業態度33%							評価
教科書 教材など	大人の国語力大全 教育センター発行物 講師作成プリント							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目		

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	リラクゼーション技法		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	岩瀬 泰 / 白神 健一		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	授業方法	実技
授業概要・授業内容	<p>・美容院に於いてシャンプーブースはサイドシャンプーとバックシャンプー対応に分かれている。そのため就職をした際にどちらでも対応できる基礎技術を教える。またスカルプマッサージ(ヘッドスパ)技術も必要とされているため、バックシャンプーと並行して教える。</p> <p>・授業は実技形式で相モデルで行うが、同じモデルにならないように工夫することで、色々な髪質や頭皮に対応できるように授業展開をする。</p>							
到達目標	<p>・リラクゼーション技法の授業を通して美容師の役割が、スタイルを作るだけでなく、毛髪及び頭皮のケアやお客様にリラックス効果を与えることも技術であること知ってもらい、また施術者は全ての技術を行う上で衛生上、清潔な道具や身なりが必要であることを理解させる。</p>							
授業計画・内容								
第1週	・サイドシャンプーとバックシャンプーを理解させる * バックシャンプーの手順を教える。			第16週	・スカルプマッサージ * 相モデル: 軽擦法～打法までを理解させる			
第2週	・サイドシャンプーとバックシャンプーを理解させる * バックシャンプーの姿勢を教える			第17週	・スカルプマッサージ * 頭部のツボ(百会・目窓・太陽)の位置を確認)			
第3週	・バックシャンプー * バックシャンプーのシャワーヘッド使い方。			第18週	・スカルプマッサージ * 頭部のツボ(百会・目窓・太陽)の位置を確認)			
第4週	・バックシャンプー * バックシャンプーの手順を理解させる。			第19週	・スカルプマッサージ * 頸部のツボ(天ゆう・天柱・風池の位置を確認)			
第5週	・バックシャンプー * バックシャンプーの手順を理解させる。			第20週	・スカルプマッサージ * 頸部のツボ(天ゆう・天柱・風池の位置を確認)			
第6週	・バックシャンプー * 相モデルで実施。(モデルチェンジ)			第21週	・スカルプマッサージ * 圧迫法(圧迫弛緩・肩井のツボを確認))			
第7週	・バックシャンプー * 相モデルで実施。			第22週	・バックシャンプー(モデルチェンジ) ・スカルプマッサージ全体の流れ			
第8週	・バックシャンプー * 相モデルで実施。			第23週	・バックシャンプー(モデルチェンジ) ・スカルプマッサージ全体の流れ			
第9週	・バックシャンプー * シャンプ&トリートメント			第24週	・バックシャンプー&トリートメント ・スカルプマッサージ全体の流れ			
第10週	・バックシャンプー * シャンプ&トリートメント			第25週	・バックシャンプー&トリートメント ・スカルプマッサージ全体の流れ			
第11週	・アームマッサージ * 腕の軽擦・強擦・揉擦法			第26週	・ロールプレイング * 受付・施術・案内までの練習			
第12週	・ハンドマッサージ * 手背・手掌・指のマッサージ			第27週	・ロールプレイング * 受付・施術・案内までの練習			
第13週	・アーム&ハンドマッサージ * 相モデルで実施			第28週	・バックシャンプー(モデルチェンジ) ・スカルプマッサージ全体の流れ			
第14週	・アーム&ハンドマッサージ * 相モデルで実施			第29週	・バックシャンプー(モデルチェンジ) ・スカルプマッサージ全体の流れ			
第15週	・授業中に前期試験を実施。			第30週	・授業中に試験を実施(総まとめ)			
評価方法	<p>・定期試験として、前期・後期終了時に実技及び衛生関わるチェックの見極め、成長度、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 実技及び衛生チェック(40%)・成長度(40)授業態度や出席(20%)</p>							
教科書教材など	<p>出版社: 日本理容美容教育センター。 書名: 美容理論Ⅱ・美容実習Ⅱ</p> <p>・メーカー作成: スカルプマッサージマニュアル</p>							
実務経験	岩瀬 泰 美容師歴: 23年 / 白神 健一 美容師歴: 6年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークI		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	(前期):中村 友里恵/(後期):松井 隆 /柿本 典子		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	授業方法	実技
授業概要・ 授業内容	(前期):ネイルの基礎知識、技術を中心に道具や器具の使い方を学ぶ授業である。・授業は実技形式でサロンワークに役立つ実習を行い、必要な接客技術も身に付けられるようにする。 (後期):サロンワークに役立てるために着付けやカラー・パーマとカット・アップの基礎技術から応用を学ぶ。・授業は実技形式を中心にグループワークを中心に行い、相モデルで接客業のたい大切さを学び、トータル的に作品制作をする。							
到達目標	(前期):ネイルの基礎知識、挨拶、接客を含め、将来働く職場での興味を持たせ、実際に就職した際に実践的な行動が取れるようにする。 (後期):サロンに就職した際に極力知らない技術が無いように教え、前期に引き続き美容師の仕事は技術だけではなくお客様の気持ちになれることの大切さを教えていきたい。							
授業計画・内容								
第1週	自己紹介、授業の進め方、教材確認、ラベル・名前・シール貼り			第16週	着付け(着付けの基礎:和服と洋装の違い)			
第2週	爪の構造と機能について			第17週	着付け(下着の種類と着付け方)			
第3週	爪のカットスタイル・エメリーボードの使い方説明 チップで5種類の形をとる			第18週	小物の扱い方・着物と帯の種類			
第4週	爪のカットスタイル②チップで5種類の形をとり、提出			第19週	小物の扱い方とたたみ方・結婚式の装い。			
第5週	消毒方法と種類・器具の消毒の手順、病気について			第20週	結婚式の装い。			
第6週	ネイルケアの手順説明、カラーリング説明(ペーパーでカラーリング練習)			第21週	*グループ決め(役割分担) 美容雑誌等を参考に作品のイメージを決める。			
第7週	ネイルケア、カラーリング 自分の手で練習(シャイナーで爪磨き)			第22週	ウイッグで練習して分からないところを研究しました質問をする。			
第8週	ジェルネイルの基礎知識			第23週	ウイッグで練習及び研究をする			
第9週	ジェルカラーの塗り方(チップで練習)			第24週	作品のテーマを考える。			
第10週	ネイルアートの種類、描き方(ジェルネイルも含む)			第25週	作品制作(カラー&メイク)			
第11週	ネイルアートの実践(フラットアート)			第26週	作品発表(テーマとポイントの説明)			
第12週	ネイルアートの実践②(ジェルアート)			第27週	トータルバランスの審査。			
第13週	ネイルアートの実践③(ネイルチップの作成)			第28週	トータルバランスの審査と結果発表。			
第14週	ネイルアートの実践③(ネイルチップの作成・提出)			第29週	ヘアカラー実践(パッチテストの理解を深める。)			
第15週	マッサージの手順・説明・実践(ハンドマッサージ・パラフィンパック)			第30週	ヘアカラー実践(希望色に染める)			
評価方法	(前期):学期末試験で筆記試験の結果、授業態度や出席状況及び課題提出状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:筆記試験結果(70%)・授業態度や出席(20%)・課題提出(10%) (後期):定期試験を実施し、授業内でトータルバランス審査結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:トータルバランス審査結果(80%)・授業態度や出席(20%)							
教科書 教材など	(前期):出版社「日本理容美容教育センター」 書名:美容技術理論Ⅱ及び美容実習Ⅱ (後期):出版社「女性モード及び新美容出版」 書名:HAIRMODO・TOMOTOMO・SHINNRIYO							
実務経験	前期:中村 友里恵(ネイルサロン歴13年) /後期:松井 隆(美容師歴15年) 後期:柿本 典子:岡山新装学院14年勤務					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅢ(ヘアデザイン)	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	選択
担当教員	岡野 宏行	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	授業方法	実技
授業概要 ・ 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な美容技術理論を軸に、美容室に就職してからも応用出来る技術、知識、精神力を養う。</li> <li>・授業形式は、基本的に講義を行い、実践に取り組み、評価するという流れで行っていく。授業の内容によってはプロジェクターを使用したり、薬剤を使用することにより視覚的、体感的に理解力を高めていくことも行っていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の科目より実践的な授業をしながらも国家試験合格を念頭において授業を進めていくので、様々な角度から国家試験にも応用が効く技術、知識を習得する。また就職し美容師として社会に出た時に必要となってくる礼儀や作法も同時に身に付けることが出来るようにする。</li> </ul>						
授業計画・内容							
第1週	・美容師としての未来設計、協調性、継続力を持つことの大切さについて。						
第2週	・ロングスタイルのベーシックカット。アイロンによる様々な仕上げ方。忍耐力の大切さについて。						
第3週	・ロングスタイルのヘアアレンジ。多種多様な編み込み技術。グループによる各種編み込みレース。						
第4週	・ミディアムスタイルにカット。そしてロングボブにカット。ストレートアイロンでヘアセット。						
第5週	・プロジェクターを使用し感性を磨くための資料を投射。ブリーチ剤を使用しインナーカラーを施す。						
第6週	・より実践的な色相学の勉強。感受性とは何か。実践的なボブスタイルのカット。						
第7週	・表面3Dハイライトの入れ方。前髪カットの切り方。創造と破壊のバランスについて。						
第8週	・ショートボブの切り方。セニングワークの大切さ。様々な角度からの思考力を高めることの大切さ。						
第9週	・ショートスタイルのカット。メンズとレディースによるウェイトバランスの違いや質感調整の方法。						
第10週	・刈り上げの切り方。2人ペアになり1つのウィッグでクリエイティブショートコンテストの実施。						
第11週	・カラー剤の成分比較。追求心を深める。バリカンアートや剃り込み技術の解説。						
第12週	・メンズスタイルのスタイリング術。自発性と達成感の産み方を考える。						
第13週	・前期試験課題の解説と準備。ブリーチを使い仕込みを施しておく。						
第14週	・前期試験(ヘアアレンジ、ヘアカラー、カット、スタイリング)						
第15週	・試験結果の発表、今までの授業内容をまとめる。そして改めて未来設計をする。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験を実施し試験評価や授業中での技術見極めや授業態度及び出席を考慮して成績を評価する。</li> <li>※評価方法:①前期試験の評価(60%)。②授業態度と出席(20%)。③授業中の技術見極め(20%)。</li> </ul>						
教科書 教材など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出版社:日本理美容教育センター「美容技術理論Ⅰ」。</li> <li>・プロジェクター、パワーポイント使用。</li> <li>・出版社:新美容出版等(美容業界雑誌)。書名:SHINBIYO/BOB等。</li> </ul>						
実務経験	美容師歴:9年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅢ「ベーシック」	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	選択
担当教員	吉川 利也	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	授業方法	実技
授業概要 ・ 授業内容	<p>・サロンワークにおいて必要と思われる基礎技術を総括的に行う。カットスタイルでは、セიმレングス・グラデーション・ローレイヤー教え、またカラーリングとしては、グレイヘア及びおしゃれ染めの解説と実技を学ぶ。</p> <p>・授業は実技形式を中心にモデルウィックを使いカットから仕上げまでを継続的に行い、また 講義で解説とデモンストレーションを併用し分かりやすく教え、確認をしながら進めていく授業である。</p>						
到達目標	<p>・授業の目標としては、失敗を恐れずに「見よう・見まね」でやってみることの大切さを知ってもらうこと。またサロンに就職した時に基本的技術(ベーシック)としてサロンワークに通用できることを目指す。</p>						
授業計画・内容							
第1週	・カット： シザーワーク及び、パネルの引き出しとコーム使い。						
第2週	・シザーワークとウィッグを使用し、パネルの引出しやカットまでをスムーズに行う訓練						
第3週	・オール・ウェーブ及びピンカールの分からない箇所や問題点がないか把握し、改善していく						
第4週	・カット： グラデーションスタイルはベーシックのサイドグラデーションでサイドから切りつないでいけるようにする						
第5週	・カラーリング： 前回のウィッグでワンタッチカラー(グレイヘア対応 )で塗布の手順や、注意点を教える						
第6週	・メンズカット： グラデーションスタイルからメンズヘア(ショート)へ転換。刈り上げ：ツブロックスタイル。						
第7週	・パーマ： ショートスタイルで前回のウィックにパーマを利用してスタイルチェンジを行う						
第8週	・カット： 「セიმレングス」 基礎的スタイルで同じ長さにするため、パネルコントロールに注意しながら切り進めていく						
第9週	カット： 「ローレイヤー」 表面にレイヤーを入れボリュームコントロールを行う						
第10週	・デザインパーマ： ローレイヤーのスタイルに動きや流れのあるデザイン的なパーマを施術していく						
第11週	カラー： さらにカラーを施すことで軽さや、立体感を表現していく						
第12週	・カットからパーマ： これまで習得をしたものを一定の作業時間で行えるよう練習をする						
第13週	・ローレイヤーからミディアムレイヤーへのスタイルチェンジ。一つのスタイル内に基礎的スタイルを組み入れながら、デザインしていく						
第14週	・ローレイヤーからミディアムレイヤーへのスタイルチェンジ。 前回同様に一定時間の中で作業を行う						
第15週	・これまで習得した技術を駆使し、自らデザインを考え、スタイリングまでを行う						
評価方法	<p>授業内で定期試験を実施し、成長度のチェックと授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：学期末試験や成長度(70%)・小テスト(20%)授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>日本理容美容教育センター発行「美容理論1」 女性モード社発行「ヘアモード」 パーマ・カラーの各薬剤など プロジェクターでの映像による解説やデモンストレーション</p>						
実務経験	美容師経歴7年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅢ(ブライダルメイク)	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	選択	
担当教員	宮家 未来	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	授業方法	実技	
授業概要 授業内容	<p>・基礎からおしへ、ヘアメイクの奥深さや技術のスキルアップを目指し、ブライダルメイクでの流行りのヘアメイクから、流行関係なく基礎からのヘアメイクスタイルなどを学ぶ。</p> <p>・授業は実戦形式で行い、技術的なりろんを踏まえ実習に繋げる。また実践に役立てるために相モデルで授業を実施し衛生面にも気を付け、メイクブラシの洗い方などを交え職業に繋げる授業である。</p>							
到達目標	<p>・目標としては将来、就職した際に必要な、お客様への対応方法として接客マナーや態度などを踏まえ、仕事の大切さを理解させる事。またヘアスタイルの種類や応用編を理解し、自分で考えられるように授業展開する。</p>							
授業計画・内容								
第1週	・オリエンテーション。ホットカーラーの巻き方の説明 ・ホットカーラー5分巻きにチャレンジ							
第2週	・夜会巻き・夜会巻きからのアレンジ							
第3週	・ポニーテールのアレンジ(3種類)							
第4週	・波ウエーブの巻き方、アレンジ							
第5週	・新日本髪							
第6週	・新日本髪(和装メイク・ボディメイク)							
第7週	・新日本髪							
第8週	・新日本髪中間テスト							
第9週	・花嫁メイク							
第10週	・メイクテスト							
第11週	・グループワークにてヘアメイク(課題あり)							
第12週	・グループワークにてヘアメイク(課題あり)							
第13週	・最後のテストに向けての授業							
第14週	・学科テスト・ドレスの着せ方レクチャー							
第15週	・グループワークにて花嫁ヘアメイクテスト							
評価方法	<p>定期試験を実施し出席率・授業態度や中間のテストを評価し最後の授業時の花嫁ヘアメイクテスト(ドレス着用)を考慮して成績を評価する。</p> <p>* 評価目安: テスト及び毎時間の課題やレポート(80%) 授業態度や出席(20%)</p>							
教科書 教材など	・新井唯夫のアップスタイルのBASIC・メイクは美的を教材							
実務経験	美容師経歴12年 ブライダルヘアメイク事務所5年勤務					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅢ(着付け)	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	選択
担当教員	清水 直子	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	授業方法	実技
授業概要 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶(正座) ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・美容師において特殊技能として必要な和装着付けを、冠婚葬祭の対応として基礎から応用まで教え、最終留袖着付けは25分以内で着付けできるように目指す。また、浴衣、振袖着付けの技術の基礎も教えサロンワークに生かせるようにしたい。						
授業計画・内容							
第1週	・着付けのマナー、着物の取り扱い方 ・着物各部の名称を覚える。 ・長襦袢半襟のつけ方を学ぶ。						
第2週	・長襦袢の襟とじ。体型補整用コットン、胸当てガーゼ、腰当布を作成しボディ補整を学ぶ。						
第3週	・長襦袢着付け(ボディ使用)・腰紐の結ぶことになれる。留袖着付けに、着物の取り扱い方を学ぶ。						
第4週	・留袖着付け(ボディ) ・帯結び 二重太鼓を学ぶ。						
第5週	・留袖着付け 帯結び(ボディ使用)着物の衿合わせ、前中心、後ろ中心を揃える。						
第6週	・留袖着付け 帯結び(ボディ)帯結びの(二重太鼓)のバランスを覚える。						
第7週	・留袖着付け 帯結び(相モデル)体型別補整の仕方						
第8週	・留袖着付け 帯結び(相モデル)着心地を体感し、着付けに生かす。						
第9週	・留袖着付け 帯結び(相モデル) 30分以内で着せる練習。						
第10週	・留袖着付け 帯結び(ボディ使用) 30分以内で着せる練習。						
第11週	・留袖着付け 帯結び(ボディ使用) 認定テストタイム25分で着せる。						
第12週	・浴衣着付け(相モデル) 浴衣の着せ方 半幅帯の結び方 変わり帯結び 浴衣自装						
第13週	・振袖着付け(ボディ使用) 振袖の着せ方(留袖との違い) 袋帯の結び方						
第14週	・振袖着付け(相モデル) 体型別補整 振袖着付け 袋帯の結び方 創作帯結び						
第15週	・振袖着付け(ボディ使用) 振袖着付け 創作帯結び 発表						
評価方法	・授業中に認定試験を実施し、授業内で技術見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:認定試験(80%)・授業内の技術見極め(10%)・授業態度や出席率(10%)						
教科書 教材など	・出版社:公益社団法人・日本理容美容教育センター 書名:美容技術理論Ⅱ ・出版社:(株)アイメディア 書名:ゆかたアップ&帯結びbook						
実務経験	美容師経歴33年 着付歴30年				実務経験のある教員による 授業科目		✓